

2020年12月18日

お知らせ

テクノロジー・イノベーション・教育・研究分野(TIER)におけるオーストラリア、 ニュージーランド、日本間の関係拡大をうけ、ANZCCJが新委員会を設立

在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所（ANZCCJ）は、既存の委員会（FAHC- 食品・農業・ホスピタリティ、SFB- スポーツ・フォー・ビジネス）に加え、テクノロジー・イノベーション・教育・研究分野をカバーする新しい委員会「TIER」（Technology, Innovation, Education, Researchそれぞれの頭文字より命名）を設立しました。この委員会の目的は、オーストラリア、ニュージーランド、日本におけるこれらの分野の現状を正確に把握し、より良い共同研究の機会創出を促進することにあります。

日本はオーストラリア第2位、ニュージーランド第4位の貿易相手国であり、TIER委員会が対象とする分野も含め、日本と両国の貿易・ビジネス関係は成長を続けています。

ANZCCJでは、この委員会の設立を記念して、第1回目のイベントを12月17日に「Innovation Through the Decade Ahead」をテーマに開催しました。第2回目のイベントは、ニュージーランドのグリーン&デジタル技術に焦点を当てたものを、2021年初頭に予定しています。

ANZCCJのサリー・タウンゼント会長は、「TIER委員会は、ANZCCJの長期的な活動の重要な柱となるでしょう。TIER委員会の主な目標の一つは、オーストラリアやニュージーランドの組織や個人が日本の同業者と交流する場を設けるとともに、より広いコミュニティがテクノロジー・イノベーション・教育・研究の各分野で成功事例を評価しあい、高めあうということです」と述べています。

同委員会の発足を記念した昨日のイベントにおけるビデオメッセージの中で、オーストラリアのジャン・アダムス大使は、「これら4つの柱は、日豪間の特別な関係と戦略的パートナーシップに非常に関連性が高く、重要な側面を持っています。今後も共同研究の機会はまだまだたくさんあります。だからこそ、このような委員会が必要であると感じています。この重要な二国間の関係をさらに強化するために、TIER委員会をサポートできることを楽しみにしています」と述べています。

TIER委員会は、リオティントの田村浩平が委員長を務め、副委員長のHummingByrd社のティム・タウトとニュージーランド貿易経済促進庁の今村吉文がサポートしています。



在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所（ANZCCJ）について

在日オーストラリア・ニュージーランド商工会議所（以下、ANZCCJ）は、1972年の設立以来、オーストラリア・ニュージーランド・日本間の商取引の発展に尽力してきた独立した非営利団体です。

ANZCCJには現在、13以上の分野を代表する約650名の会員が在籍しています。日本でビジネスを展開しているオーストラリア・ニュージーランドからの会員、オーストラリア・ニュージーランドと経済的な関係のある日本企業、海外の会員、日本とオーストラリア・ニュージーランドの間でビジネスを展開している人など、多彩な会員により構成されます。

ANZCCJでは、オーストラリアやニュージーランドの政府関係者、業界の専門家、政治家との会合、セミナー、交流会など、様々なイベントを開催しています。これらのイベントは、会員各位に、外交政策や経済状況の変化を把握し、日本市場の様々な側面に関する知識を得て、新しいビジネスや社会的な人脈を築く機会を提供しています。

ANZCCJの共同後援者は、オーストラリアとニュージーランドの大使であり、それぞれの大使館で年間数多くのイベントを開催しています。